



DIGITAL PIANO

P - 1 4 5

P - 1 4 3

取扱説明書

ヤマハ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この楽器は、高品位な音や鍵盤のタッチで演奏をお楽しみいただける電子ピアノです。この楽器に搭載された機能を十分にご活用いただけるよう、本書をよくお読みになってからご使用ください。また、本書をお読みになったあとも、いつでもご覧になれるところに大切に保管してください。

説明書について

この楽器には、以下の説明書が用意されています。

冊子マニュアル



取扱説明書(本書)

この楽器の機能や使い方を説明しています。

ウェブマニュアル

• クイックオペレーションガイド

本製品は[GRAND PIANO/FUNCTION]ボタンを押しながら特定の鍵盤を押すことで、さまざまな機能呼び出せます(→10ページ)。このクイックオペレーションガイドは、鍵盤に割り当てられた機能を一覧できるシートです。シートをご自身で印刷し、譜面立てに置くことで、操作早見表としてご活用ください。

こちらのQRコードから直接ダウンロードできます。

<https://manual.yamaha.com/mi/kb-ekb/p-145/>



• スマートデバイス接続マニュアル

スマートフォンやタブレット端末などのスマートデバイスと接続する方法を説明しています。

• コンピューターとつなぐ

楽器とコンピューターを接続する方法などを説明しています。

• MIDIリファレンス

この楽器のMIDIに関する資料を掲載しています。

上記のマニュアルは、以下ウェブサイトからご覧いただけます。製品名などを入力して、検索してください。

*「MIDI入門」と入力すると、MIDIの基礎知識を説明した資料をPDFで入手できます。

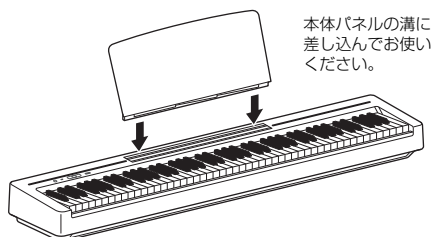
サポート・お問い合わせ「取扱説明書」

<https://jp.yamaha.com/support/manuals/>



付属品(お確かめください)

- | | |
|------------------------------------|----|
| <input type="checkbox"/> 取扱説明書(本書) | ×1 |
| <input type="checkbox"/> 保証書 | ×1 |
| <input type="checkbox"/> フットスイッチ | ×1 |
| <input type="checkbox"/> 電源アダプター | ×1 |
| <input type="checkbox"/> 製品登録のご案内 | ×1 |
| <input type="checkbox"/> 譜面立て | ×1 |



もくじ

説明書について.....	2	機能一覧.....	10
安全上のご注意.....	4	バックアップと初期化.....	13
各部の名前と機能.....	8	困ったときは.....	13
ご使用前の準備.....	9	仕様.....	14
電源の準備.....	9	別売品のご紹介.....	15
電源を入れる/切る.....	9	ペダル機能の紹介(ペダルユニットLP-5A接続時)	15
オートパワーオフ機能.....	9		
フットスイッチ/フットペダルを使う.....	9		

スマートデバイスアプリと一緒に使う

楽器とスマートデバイスを接続することで、以下の専用アプリを活用できます。



スマートピアニスト

この楽器に搭載されたさまざまな機能を、スマートデバイスの画面上で簡単に操作できます。楽器とスマートデバイスの接続方法や、アプリの使い方については、スマートピアニストユーザーガイドをご覧ください。

スマートピアニストユーザーガイド
<https://manual.yamaha.com/mi/app/smartpianist/>



Rec'n'Share

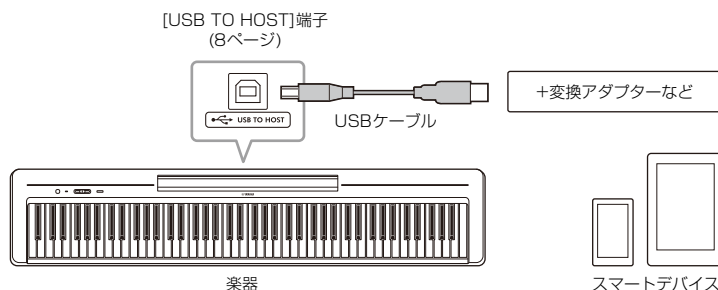
楽器の演奏を撮影/録音/編集したり、それらのデータをSNSなどにアップロードしたりすることができるアプリです。

楽器とスマートデバイスとの接続には、市販のUSBケーブル(ABタイプ)とスマートデバイスのコネクタ形状に合った変換アダプターが必要です。

各アプリについて詳しくは、下記ウェブサイトでご確認ください。
<https://jp.yamaha.com/kbdapps/>



■ 接続例



安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お子様がご使用になる場合は、保護者の方が以下の内容をお子様にご徹底くださいますようお願いいたします。お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。



注意喚起を示す記号



禁止を示す記号



行為を指示する記号

■ 「警告」「注意」「ご注意」について

誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を区分して掲載しています。



警告

「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

「傷害を負う可能性が想定される」内容です。

ご注意

「故障、損傷や誤動作、データの損失の発生が想定される」内容です。



警告

電源



禁止

電源コードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものをのせない。電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。



必ず実行

電源アダプターは、必ず付属のものを使用する。また付属の電源アダプターをほかの機器に使用しない。火災、やけど、または故障の原因になります。



禁止

雷が鳴っているときは、本製品や電源プラグに触らない。感電の原因になります。



必ず実行

電源プラグを定期的に確認し、ほこりが付着している場合はきれいに拭き取る。ショートして火災や感電の原因になります。



必ず実行

電源は必ず交流100Vを使用する。エアコンの電源など交流200Vのものがあります。誤って接続すると、火災、感電、または故障の原因になります。



必ず実行

電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込む。差し込みが不十分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積したりして火災ややけどの原因になります。

警告

電源



必ず実行

電源プラグは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。

万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。電源を切った状態でも電源プラグをコンセントから抜かないかぎり電源から完全に遮断されません。



禁止

たこ足配線をしない。

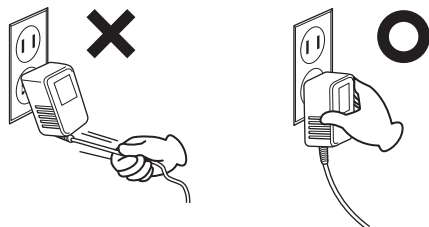
音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱して火災の原因になります。



必ず実行

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。

電源コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。



電源プラグを抜く

長期間使用しないときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

火災や故障の原因になります。

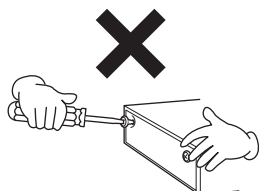
分解禁止



禁止

本製品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、けが、または故障の原因になります。本製品の内部には、お客様が修理や交換できる部品はありません。



水に注意



禁止

- 浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところや水がかかるところで使用しない。
- 本製品の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。
- 電源アダプターは、室内専用のため屋外では使用しない。

内部に水などの液体が入ると、火災や感電、または故障の原因になります。



禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。感電のおそれがあります。

火に注意



禁止

本製品の近くで、火気を使用しない。火災の原因になります。

異常に気づいたら



必ず実行

下記のような異常が発生した場合、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

- 電源コード/プラグが破損した場合
- 製品から異常なおい煙が出た場合
- 製品の内部に水や異物が入った場合
- 使用中に音が出なくなった場合
- 製品に亀裂、破損がある場合

そのまま使用を続けると、感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検や修理をご依頼ください。

⚠ 注意

設置



禁止

不安定な場所や振動の多い場所に置かない。
本製品が転倒して故障したり、けがをしたりする原因になります。



必ず実行

本製品を移動するときは、必ずすべての接続ケーブルを外した上で行う。
ケーブルをいためたり、お客様やほかの方が転倒したりするおそれがあります。



必ず実行

指定のスタンドを使用する。また、付属のネジがある場合は必ずそれを使用する。
本製品が転倒し破損したり、内部の部品を傷つけたりする原因になります。

接続



必ず実行

ほかの機器と接続する場合は、すべての電源を切った上で行う。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ずすべての機器の音量（ボリューム）を最小にする。

聴覚障害、感電または機器の損傷の原因になります。



必ず実行

演奏を始める前に機器のボリュームを最小にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げて、適切な音量にする。

聴覚障害または機器の損傷の原因になります。

取り扱い



禁止

本製品のパネル、鍵盤のすき間から金属や紙片などの異物を入れない。

火災、感電、故障や動作不良の原因になります。



禁止

本体の上ののったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。

本体が破損したり、お客様やほかの方がけがをしたりする原因になります。



禁止

大きな音量で長時間使用しない。

聴覚障害の原因になります。特にヘッドホンを使用する場合はご注意ください。万一、聴力低下や耳障りを感じた場合は、専門の医師にご相談ください。



必ず実行

本製品をお手入れするときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

感電の原因になります。

- データが破損したり失われたりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。
- 不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

使用後は、必ず電源を切りましょう。

[Ⓛ](スタンバイ / オン) スイッチを切った状態（電源ランプが消えている）でも微電流が流れています。[Ⓛ](スタンバイ / オン) スイッチが切れているときの消費電力は、最小限の値で設計されています。この製品を長時間使用しないときは必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

(DMI-11)

ご注意

「故障、損傷や誤動作、データの損失の発生が想定される」内容です。以下の内容をよく読んでお使いください。

■ 製品の取り扱いに関する注意

- テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しないでください。楽器本体またはテレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。
- スマートフォン、タブレット端末などのスマートデバイスのアプリと一緒に使用する場合は、通信によるノイズを避けるためスマートデバイスの機内モードをオンにしてお使いいただくことをおすすめします。
- 直射日光のあたる場所（日中の車内など）やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところで使用しないでください。本体が変形したり、内部の部品が故障したり、動作が不安定になったりする原因になります（5℃～40℃の範囲で動作することを確認しています）。
- 本体上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かないでください。本体が変色/変質する原因になります。
- この楽器は、背面にスピーカーが内蔵されています。時計、磁気カードなど磁気の影響を受けるものを本体の上に置かないでください。破損の原因になります。

■ 製品のお手入れに関する注意

- お手入れの際は、乾いた柔らかい布、または水を含ませた柔らかい布を固くしぼってご使用ください。ベンジンやシンナー、アルコール、洗剤、化学ぞうきんなどを使用すると、変色/変質する原因になりますので、使用しないでください。

お知らせ

■ データの著作権に関するお願い

- この製品に搭載されている「コンテンツ」*¹の著作権は、ヤマハ(株)もしくはその著作権者に帰属します。私的使用のための複製など著作権法上認められている場合を除いて、権利者に無断で「複製または転用」*²することは禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。

なお、製品本来の使用を通して、上記コンテンツを使用した音楽制作や演奏を行い、それらを録音して配布する場合、配布方法が有償、無償を問わずヤマハ(株)の許諾は必要ありません。

*1：「コンテンツ」には、コンピュータープログラム、サウンドデータ、伴奏スタイルデータ、MIDIデータ、WAVEデータ、音声記録データ、楽譜や楽譜データなどを含みます。

*2：「複製または転用」には、この製品に内蔵または同梱されたコンテンツそのものを取り出すこと、もしくは酷似した形態で記録/録音して配布することを含みます。

■ 製品に搭載されている機能/データに関するお知らせ

- 内蔵曲は、曲の長さやイメージが原曲と異なる場合があります。

■ 表記について

ご注意： 製品の故障や誤動作を防ぐため、守っていただきたいことを示しています。

【NOTE】：使用時の注意点や補足情報が記載されています。

[]：パネル上のボタンや端子を示しています。

■ 取扱説明書の記載内容に関するお知らせ

- この取扱説明書に掲載されているイラストは、すべて説明のためのものです。
- QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。
- MIDIは社団法人音楽電子事業協会(AMEI)の登録商標です。
- その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

■ 調律について

- 調律の必要はありません。電源を入れるといつでも正しいピッチ(音の高さ)でお使いいただけます。

■ 廃棄に関するお知らせ

- 本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。

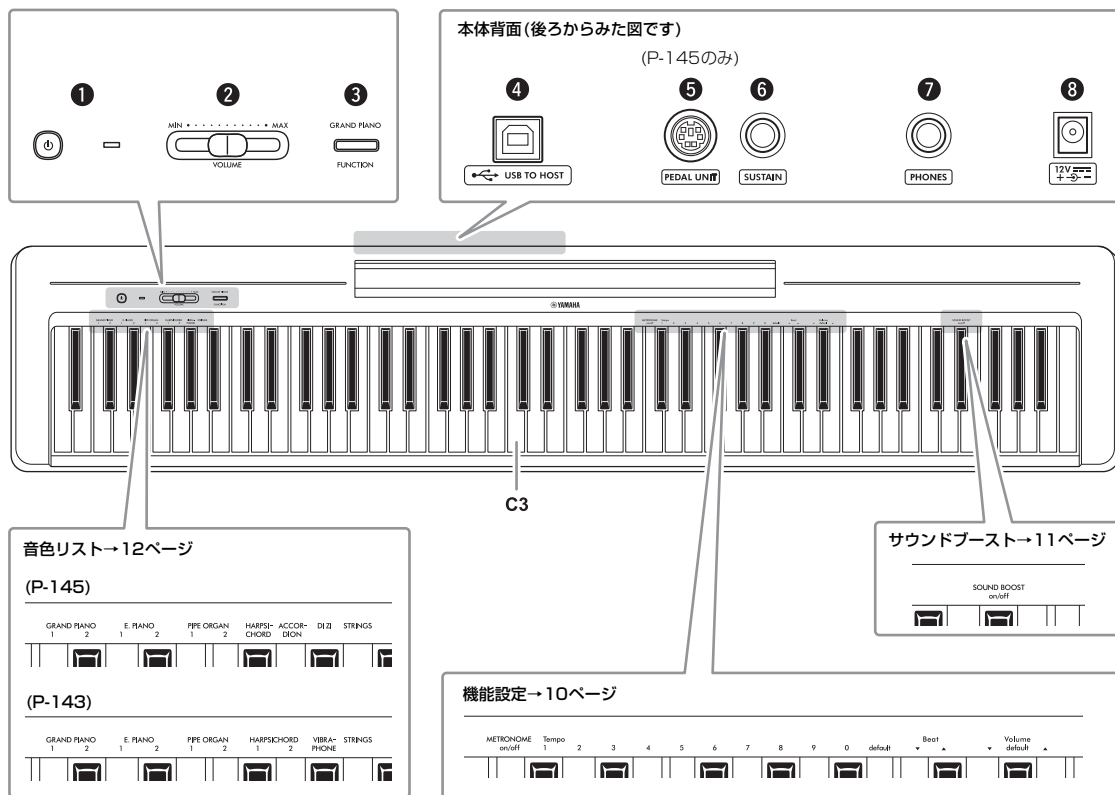
機種名(品番)、製造番号(シリアルナンバー)、電源条件などの情報は、製品の底面にある銘板または銘板付近に表示されています。製品を紛失した場合などでもご自身のものを特定していただけるよう、機種名と製造番号については以下の欄にご記入のうえ、大切に保管していただくことをお勧めします。

機種名

製造番号

(1003-M06 plate bottom ja 01)

各部の名前と機能

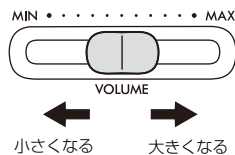


① [⏻] (スタンバイ/オン) スイッチ、電源ランプ (→9ページ)

電源のスタンバイ/オンを切り替えます。

② [VOLUME] スライダー

楽器全体の音量を調節します。



③ [GRAND PIANO/FUNCTION] ボタン

ワンタッチでグランドピアノ1の音色を呼び出します。また、このボタンを押したまま特定の鍵盤を押すと、さまざまな機能の設定ができます(→10ページ)。

④ [USB TO HOST] 端子

市販のUSBケーブルを使ってコンピューターやスマートデバイス(スマートフォン、タブレット端末など)と接続します。接続すると、MIDIとオーディオの通信ができます。

接続方法について詳しくは、ヤマハウェブサイト上の「コンピューターとつながる」、または「スマートデバイス接続マニュアル」をご覧ください。

ご注意

- USBケーブルは3メートル未満のABタイプをご使用ください。USB 3.0ケーブルはご使用できません。

⑤ [PEDAL UNIT] 端子(P-145のみ)(→15ページ)

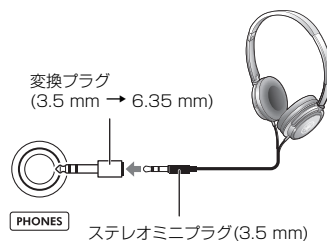
別売のペダルユニットを接続します。

⑥ [SUSTAIN] 端子(→9ページ)

フットスイッチ(付属または別売)やフットペダル(別売)を接続します。

⑦ [PHONES] 端子(ステレオ標準フォン端子)

ヘッドホンを接続します。ヘッドホンを接続すると自動的にスピーカーからは音が出なくなります。



△ 注意

- 大きな音量で長時間ヘッドホンを使用しないでください。聴覚障害の原因になります。

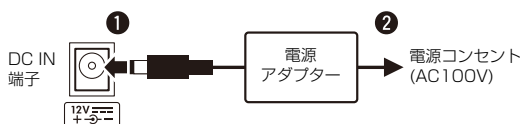
⑧ DC IN端子(→9ページ)

付属の電源アダプターを接続します。

ご使用前の準備

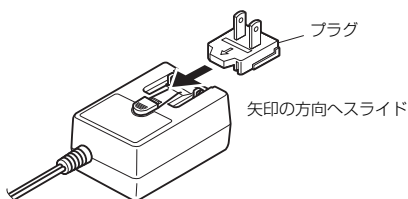
電源の準備

図の順序で電源アダプターを接続します。



警告

- 電源アダプターは、必ず付属のもの(14ページ)をご使用ください。異なった電源アダプターを使用すると、故障、発熱、火災などの原因になります。このような場合は、保証期間内でも保証いたしかねることがございますので、十分にご注意ください。
- プラグが外れるタイプの電源アダプターは、必ずプラグを装着した状態で使用、または保管してください。プラグ部分だけをコンセントに差し込むと、感電や火災の原因になります。
- プラグが外れた場合は、内部の金属部分に触れないよう注意して、カチッと音がするまで完全に差し込んでください。また異物が入らないようご注意ください。感電やショート、故障の原因になります。



警告

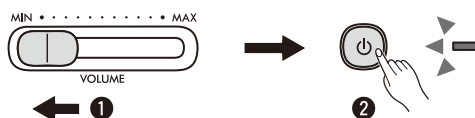
- 本体はコンセントの近くに設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

NOTE

- 電源アダプターを外すときは、電源を切ってから、逆の手順で行ってください。

電源を入れる/切る

- 音量を最小にします。
- [⏻](スタンバイ/オン)スイッチを押して電源を入れます。



電源が入ると、[⏻](スタンバイ/オン)スイッチ右の電源ランプが点灯します。音量は鍵盤を弾いて確かめながら、徐々に上げてください。

電源を切るには、もう一度[⏻](スタンバイ/オン)スイッチを押します(1秒)。

警告

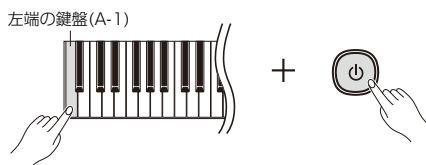
- 電源を切った状態でも微電流が流れています。この楽器を長時間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。

オートパワーオフ機能

この楽器は、電源の切り忘れによる無駄な電力消費を防ぐため、オートパワーオフ機能を搭載しています。これは、本体が15分操作されないと自動的に電源が切れる機能です。オートパワーオフの設定方法は、10ページをご覧ください。

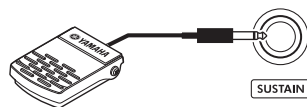
オートパワーオフ機能の簡単解除

左端の鍵盤(A-1)を押したまま電源を入ると、オートパワーオフ機能が解除された状態で起動します。



フットスイッチ/フットペダルを使う

付属のフットスイッチを[SUSTAIN]端子に接続することで、ペダルを踏んでいる間、鍵盤から指を離しても音を長く響かせることができます。また、別売のフットペダルやフットスイッチ(15ページ)も接続できます。



NOTE

- フットスイッチ/フットペダルのケーブルの抜き差しは、電源を切った状態で行ってください。
- フットスイッチ/フットペダルを踏んだまま楽器の電源を入れないでください。フットスイッチ/フットペダルのオン/オフが逆転します。

機能一覧

この楽器は、[GRAND PIANO / FUNCTION]ボタンを押したまま特定の鍵盤を押すことで、設定の変更や音色の選択、内蔵曲の再生ができます。設定を変更すると、操作音(「オン」、「オフ」、クリック音、数値の読み上げ音声)でお知らせします。

[GRAND PIANO / FUNCTION]ボタンだけを押しと、鍵盤の音がグランドピアノになります。

A#-1		C#0 D#0		F#0 G#0 A#0		C#1 D#1		F#1 G#1 A#1		C#2 D#2		F#2 G#2 A#2	
テンポ読み上げ	オートパワーオフ有効	音色 1	音色 2	音色 3	音色 4	音色 5	音色 6	音色 7	音色 8	音色 9	音色 10	曲番号 1	曲番号 2
オートパワーオフ無効												曲番号 3	曲番号 4
												曲番号 5	曲番号 6
												曲番号 7	曲番号 8
												曲番号 9	曲番号 10
												デュオ オン/オフ	タッチ感度

①

②

③音色の選択

④音色デモ曲の再生

⑤ピアノ曲の再生

⑥

⑦

機能	内容	初期設定
① テンポの読み上げ	現在のメトロノームのテンポを音声(英語)で読み上げます。	—
② オートパワーオフ機能	オートパワーオフ機能(9ページ)の有効/無効を切り替えます。	有効
③ 音色の選択	音色を選びます。(→音色リスト 12ページ) 2つの音色を重ねるには(デュアル) 2つの鍵盤を同時に押すと、2つの音色を重ねて鳴らすことができます(デュアル)。音色番号の小さい方が第1音色、大きい方が第2音色になります。(→⑩、⑪) デュアルは、[GRAND PIANO / FUNCTION]ボタンを押すか、他の音色を選ぶと、解除されます。	—
④ 音色デモ曲の再生	選んだ曲から順番に、カテゴリ内の曲を連続再生します。(→音色デモ曲/ピアノ曲リスト 12ページ)	—
⑤ ピアノ曲の再生	再生を停止するには、[GRAND PIANO / FUNCTION]ボタンを押します。 1曲を繰り返し再生するには [GRAND PIANO / FUNCTION]ボタンを押したまま、該当の鍵盤をクリック音(②)が2回鳴るまで長押しします。	—
⑥ タッチ感度	鍵盤を弾く強さを変えたときの、音の強弱の付きかた(タッチ感度)を設定します。鍵盤の重さ自体は変わりません。鍵盤を押すたびに、設定が順番に切り替わります。(→タッチ感度リスト 12ページ)	2 (ミディアム)
⑦ デュオ オン/オフ	鍵盤を左右に分けて、同時に二人が同じ音域で演奏できます。E3の鍵盤が境となり、左奏者側と右奏者側に分かれます。	オフ
⑧ リバープタイプ	演奏音に、残響音(リバープ)を加えます。音色を選ぶと最適なものが自動で呼び出されますが、自由に変更できます。(→リバープタイプリスト 12ページ)	各音色に最適な設定
⑨ リバープ深さ	リバープのかかり具合を調節します。値が大きいほど効果は深くなります。設定値: 0(効果なし)~10	各音色に最適な設定
⑩ ダンパーレゾナンス オン/オフ	アコースティックピアノでダンパーペダルを踏んだ際の弦の共振効果を付加します。この効果は、グランドピアノ1、2の音色を選択し、付属または別売品のペダルを使用しているときのみ有効です。	オン
⑪ トランスポーズ (鍵盤の調を変える)	半音単位で移調します。 例)「+5」に設定したとき「ド(C)」を弾くと「ファ(F)」の音が出ます(ハ長調→ヘ長調)。設定値: -6~0~6	0
⑫ メトロノーム	メトロノームを再生/停止します。	オフ(停止)



アプリ「スマートピアニスト」を活用することでスマートデバイス画面上からも設定を変更できます。
(→3ページ)

METRONOME Tempo
on/off 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 default ▼

Beat ▲ Volume ▼ default ▲

SOUND BOOST
on/off

C#3 D#3			F#3 G#3 A#3			C#4 D#4			F#4 G#4 A#4			C#5 D#5			F#5 G#5 A#5			C#6 D#6			F#6 G#6 A#6																					
ホール1	ホール2	スレージ	リバーブ深さ -	リバーブ深さ +	トランスポーズ -	トランスポーズ +	メトロノーム オン/オフ	ナンバーキー 1	ナンバーキー 2	ナンバーキー 3	ナンバーキー 4	ナンバーキー 5	ナンバーキー 6	ナンバーキー 7	ナンバーキー 8	ナンバーキー 9	テンポ 初期設定	拍子 -	拍子 +	メトロノーム音量 初期設定	メトロノーム音量 -	メトロノーム音量 +	デュアル音量バランス -	デュアル音量バランス +	デュアル音量バランス 初期設定	デュアル音量バランス +	オクターブ -1 (第2音色)	オクターブ +1 (第2音色)	オクターブ -1 (第1音色)	オクターブ +1 (第1音色)	オーディオルーブリック オン/オフ	サウンドブースト オン/オフ	チューニング -0.2 Hz	チューニング +0.2 Hz	A3 = 440.0 Hz (初期設定)	A3 = 442.0 Hz	MIDI送信チャンネル -	MIDI送信チャンネル 初期設定	MIDI送信チャンネル +	鍵盤操作音 オン/オフ		
C3	D3	E3	F3	G3	A3	B3	C4	D4	E4	F4	G4	A4	B4	C5	D5	E5	F5	G5	A5	B5	C6	D6	E6	F6	G6	A6	B6	C7														
⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	㉛	㉜	㉝	㉞	㉟	㊱	㊲	㊳	㊴	㊵	㊶	㊷	㊸	㊹	㊺	㊻	㊼	㊽	㊾	㊿

⑧ リバーブタイプ

⑨

⑩

⑪

⑫

⑬ テンポ

⑭

⑮

⑯

⑰ オクターブ設定

⑱

⑲

⑳

㉑

㉒

㉓

㉔

㉕

㉖

㉗

㉘

㉙

㉚

㉛

㉜

㉝

㉞

㉟

㊱

㊲

㊳

㊴

㊵

㊶

㊷

㊸

㊹

㊺

㊻

㊼

㊽

㊾

㊿

機能	内容	初期設定
⑬ テンポ	メトロノームや音色デモ曲、ピアノ曲のテンポを変更します。 例) テンポ70の設定: [GRAND PIANO / FUNCTION]ボタンを押したまま、G4(ナンバーキー 7) → A#4(ナンバーキー 0) の順で押します。 設定範囲: 32~280	120 (メトロノーム)
⑭ メトロノームの拍子	メトロノームの拍子を設定します。 設定範囲: 0(拍子なし)、2、3、4、5、6拍子	0(拍子なし)
⑮ メトロノームの音量	メトロノームの音量を設定します。 設定範囲: 1~20	10
⑯ デュアルの音量バランス	デュアル(③)のときの、2つの音の音量バランスを変更します。 設定値が+6に近づくほど第1音色の音量が大きくなり、-6に近づくほど第2音色の音量が大きくなります。 設定範囲: -6~+6	音色の組み合わせによる
⑰ オクターブ設定 (デュアル/デュオ)	デュアル(③)やデュオ(⑦)のときの、各音色のオクターブを設定します。デュオのときは右奏者が第1音色、左奏者が第2音色になります。 設定範囲: -1、0、+1	音色の組み合わせによる
⑱ サウンドブースト オン/オフ	楽器の音量感をアップさせます。強音だけでなく弱音まで、よりはっきり聞かせたい場合にオンにします。	オフ
⑲ オーディオルーブリック オン/オフ	[USB TO HOST]端子で接続したコンピューターやスマートデバイスからのオーディオ入力音を、楽器での演奏音と一緒に、コンピューターやスマートデバイスに出力する(オン)/しない(オフ)を設定します。	オン
㉑ チューニング (音の高さの微調整)	音の高さを約0.2 Hz単位で微調整します。ほかの楽器と合わせて演奏する際に、音の高さを正確に合わせることができます。 設定範囲: 414.8 Hz~440.0 Hz~466.8 Hz	A3 = 440.0 Hz
㉑ MIDI送信チャンネル	この楽器での鍵盤演奏を、外部機器にMIDI送信するときのチャンネルを設定します。詳細はMIDIリファレンスをご覧ください。 設定範囲: 1~16	1
㉒ 鍵盤操作音 オン/オフ	設定を変更したときに、操作音(クリック音、またはオン/オフや数値の読み上げ音声)が鳴ります。この操作音を鳴らす(オン)、鳴らさない(オフ)を設定します。	オン

音色リスト

番号	鍵盤	音色名	音色紹介
1	C0	GRAND PIANO 1 (グランドピアノ1)	フルコンサートグランドピアノからサンプリングしました。クラシックはもちろん、どんなジャンルのピアノ曲にも合います。
2	C#0	GRAND PIANO 2 (グランドピアノ2)	ブライトなピアノの音です。クリアに音を目立たせたい曲に最適です。
3	D0	E. PIANO 1 (エレクトリックピアノ1)	金属片をハンマーでたたいて発音させる電気ピアノの音です。弱く弾いたときは柔かく、強く弾くと芯のある音がします。
4	D#0	E. PIANO 2 (エレクトリックピアノ2)	FMシンセサイザーによる電子ピアノの音です。ポピュラー音楽に最適です。
5	E0	PIPE ORGAN 1 (パイプオルガン1)	パイプオルガンのプリンシパル系(金管楽器系)の混合音栓の音(8フィート+4フィート+2フィート)です。バロック時代の教会音楽の演奏に適しています。
6	F0	PIPE ORGAN 2 (パイプオルガン2)	バッハの「トッカータとフーガ」で有名なパイプオルガンのフルカブラーの音です。
7	F#0	P-145 HARPSICHORD (ハープシコード) P-143 HARPSICHORD 1 (ハープシコード1)	バロック音楽でよく使われる楽器の音です。タッチによる音量変化はありません。
8	G0	P-145 ACCORDION (アコーディオン) P-143 HARPSICHORD 2 (ハープシコード2)	タンゴやシャンソンによく使われるアコーディオンの音です。 オクターブ上の音がミックスされたハープシコードの音です。より華やかさが感じられます。
9	G#0	P-145 DI ZI (ディズ) P-143 VIBRAPHONE (ビブラフォン)	竹製の横笛の音です。澄んだ響きと歯切れの良さが特徴です。 比較的柔らかなマレットでたたいたビブラフォンの音です。
10	A0	STRINGS (ストリングス)	広がりある弦楽アンサンブルの音です。ピアノとのデュアルに向いています。

ピアノ曲リスト

番号	鍵盤	曲名	作曲家
1	C2	メヌエット ト長調	J.S.バッハ
2	C#2	トルコ行進曲	W.A.モーツァルト
3	D2	エリーゼのために	L.v.ベートーヴェン
4	D#2	小犬のワルツ	F.F.ショパン
5	E2	トロイメライ	R.シューマン
6	F2	人形の夢と目覚め	T.オースティン
7	F#2	アラベスク	J.F.ブルグミュラー
8	G2	ユーモレスク	A.ドヴォルザーク
9	G#2	エンターテイナー	S.ジョブリン
10	A2	垂緑色の髪乙女	C.A.ドビュッシー

デモ曲リスト

番号	鍵盤	音色名	曲名	作曲家
1	C1	GRAND PIANO 1 (グランドピアノ1)	オリジナル	—
2	C#1	GRAND PIANO 2 (グランドピアノ2)	オリジナル	—
3	D1	E. PIANO 1 (エレクトリックピアノ1)	オリジナル	—
4	D#1	E. PIANO 2 (エレクトリックピアノ2)	オリジナル	—
5	E1	PIPE ORGAN 1 (パイプオルガン1)	オリジナル	—
6	F1	PIPE ORGAN 2 (パイプオルガン2)	オリジナル	—
7	F#1	P-145 HARPSICHORD (ハープシコード) P-143 HARPSICHORD 1 (ハープシコード1)	ガボット	J.S.バッハ
8	G1	P-145 ACCORDION (アコーディオン) P-143 HARPSICHORD 2 (ハープシコード2)	インベンション 第1番	J.S.バッハ
9	G#1	P-145 DI ZI (ディズ) P-143 VIBRAPHONE (ビブラフォン)	オリジナル	—
10	A1	STRINGS (ストリングス)	オリジナル	—

「オリジナル」は、ヤマハのオリジナル曲です。(© Yamaha Corporation)

「オリジナル」以外のデモ曲は、曲の長さやイメージが原曲と異なる場合があります。

タッチ感度リスト

操作音	タッチ感度	説明
1	ソフト	軽いタッチで大きい音を出すことができます。
2	ミディアム	標準的なタッチ感度です。(初期設定)
3	ハード	強いタッチで弾かないと大きい音が出にくい設定です。
4	固定	タッチの違いによる音の強弱は付かず、一定の音量で鳴ります。

パイプオルガン、ハープシコードの音色ではタッチによる音の強弱は付きません。

リバーブタイプリスト

鍵盤	リバーブタイプ	説明
C3	ホール1	小さいコンサートホールにいるような響き。
C#3	ホール2	大きいコンサートホールにいるような響き。
D3	ルーム	狭い部屋の中にいるような響き。
D#3	ステージ	ステージにいるような響き。
E3	オフ	リバーブはかかりません。

バックアップと初期化

以下の設定は自動的にバックアップされるので、電源を切っても保持されます。

バックアップされる項目

メトロノームの音量/拍子の設定、タッチ感度、チューニング、オートパワーオフ機能、鍵盤操作音オン/オフ

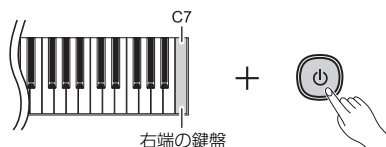
NOTE

- テンポの設定は、バックアップされません。

バックアップされた設定を初期化する

バックアップされた設定を工場出荷時の状態に戻すことを「初期化」といいます。

初期化するには、いったん電源を切り、C7(右端の鍵盤)を押したまま[⏻](スタンバイ/オン)スイッチを押して電源を入れます。



ご注意

- 初期化実行中は電源を切らないでください。

NOTE

- 本機が正常に動作しない場合、初期化を試してみてください。

初期化実行中は電源ランプが点滅します。

困ったときは

現象	原因と解決方法
電源が入らない。	電源アダプターは正しく接続されていますか。電源アダプターを本体とコンセントに確実に差し込んでください。(→9ページ)
電源が自動的に切れる。	故障ではありません。オートパワーオフ機能が働いたためです。オートパワーオフ機能を使いたくない場合は、機能を無効にしてください。(→9ページ)
スピーカー / ヘッドホンから雑音が出る。	楽器の近くで携帯電話を使用していませんか。携帯電話の電源を切るか楽器から離れて使用してください。 スマートデバイスのアプリと一緒に使用している場合は、スマートデバイスの機内モードをオンにしてお使いいただくことをおすすめします。
全体的に音が小さい。まったく音が出ない。	[VOLUME]スライダーが下がっていませんか。上げてみてください。(→8ページ) [PHONES]端子にヘッドホン、または変換アダプターが接続されていませんか。(→8ページ)
ペダルが効かない。	電源を切り、ペダルコードのプラグが[SUSTAIN]端子、または[PEDAL UNIT]端子に確実に接続されているか確認してください。(→9、15ページ)
フットスイッチ(サステイン)のオン/オフが逆になった。(フットスイッチを踏むと音がカットされ、離すとサステインが効く)	フットスイッチを踏みながら電源を入れたため、フットスイッチの極性が逆になっています。電源を切り、フットスイッチを踏まずに、もう一度電源を入れ直してください。
鍵盤を弾くと、機械音がカタカタ鳴る	この楽器の鍵盤機構は、ピアノの鍵盤機構をシミュレートして設計されています。ピアノの場合でも機械音は実際に出ているものです。異常ではありません。
特定の音域でピアノ音色の音の高さ、音質がおかしい。	異常ではありません。ピアノ音色では、ピアノ本来の音をできる限り忠実に再現しようとしております。その結果、音域により倍音が強調されて聞こえるなど、音の高さや音域が異質に感じる場合があります。
DAW(Digital Audio Workstation)などの音楽制作アプリケーションと一緒に使用したとき、ハウリングしたり、大きな音がしたりする。	音がループしています。オーディオループバック(11ページ)をオフにするか、DAWのモニター機能をオフにしてください。

下記ウェブサイト「よくあるお問い合わせ(Q&A)」もご確認ください。それでも解決しない場合は、「電子ピアノ・キーボードご相談窓口」(裏表紙)へお問い合わせください。



<https://yamaha.io/faq-jp-piano>

仕様

			P-145	P-143
品名			電子ピアノ	
サイズ/質量	寸法	幅×奥行き×高さ	1,326×268×129 (mm)	
	質量		11.1kg	
操作子	鍵盤	鍵盤数	88鍵	
		鍵盤種	グレードハンマーコンパクト(GHC)鍵盤 黒鍵マット仕上げ	
		タッチ感度	ソフト/ミディアム/ハード/固定	
	パネル	言語	英語	
音源/音色	音源	ピアノ音	ヤマハ CFIIIS	
	ピアノ音源の効果	ダンパーレゾナンス	○	
	最大同時発音数		64	
	プリセット	音色数	10	
効果	タイプ	リバーブ	4種類	
		サウンドブースト	○	
ソング	プリセット	内蔵曲数	音色デモ曲 10 + ピアノ曲 10	
ファンクション	音色	デュアル	○	
		デュオ	○	
	全体設定	メトロノーム	○	
		テンポ	32～280	
		トランスポーズ	－6～0～+6	
		チューニング	414.8～440.0～466.8 Hz (約0.2 Hz単位)	
		USBオーディオインターフェース機能	44.1 kHz、16 bit、ステレオ	
接続端子	DC IN		12 V	
	PHONES		ステレオ標準フォーン端子 (×1)	
	SUSTAIN(サステイン)		○	
	PEDAL UNIT(ペダルユニット)		○	－
	USB TO HOST		○ (MIDI/オーディオ)	
音響	アンプ出力		7 W×2	
	スピーカー		楕円 (12 cm × 8 cm) × 2	
電源	電源アダプター		PA-150Bまたはヤマハ推奨の同等品 (出力 : DC 12 V、1.5 A)	
	消費電力		6 W (電源アダプター PA-150B使用時)	
	オートパワーオフ		○	
付属品			・ 取扱説明書(本書) ・ 保証書 ・ フットスイッチ ・ 電源アダプター (PA-150Bまたはヤマハ推奨の同等品) ・ 製品登録のご案内 ・ 譜面立て	

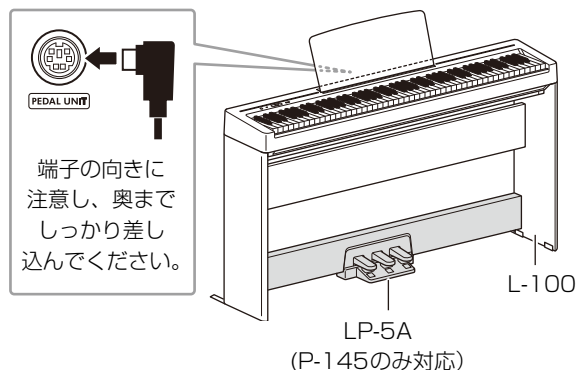
本書は、発行時点での最新仕様で説明しています。最新版は、ヤマハウェブサイトからダウンロードできます。

別売品のご紹介

- ・電源アダプター PA-150B(またはヤマハ推奨の同等品)
 - ・ヘッドホン HPH-150、HPH-100、HPH-50
 - ・キーボードスタンド L-100
 - ・キーボードソフトケース SC-KB851
 - ・ワイヤレスMIDIアダプター UD-BT01
 - ・フットスイッチ FC4A、FC5
 - ・フットペダル FC3A (ハーフペダル対応)
 - ・[P-145のみ] ペダルユニット LP-5A (ハーフペダル対応)
- *必ず専用キーボードスタンド L-100に取り付けてお使いください。

ハーフペダル機能とは

ダンパーペダル(フットペダル)の踏み加減で音の伸び具合を調節できる機能です。ダンパーペダルを踏んで音が響きすぎたとき、踏み込んだ状態からペダルを少し戻して音の響きを抑える(音の濁りを減らす)ことができます。



ペダル機能の紹介(ペダルユニットLP-5A接続時)

ダンパーペダル(右のペダル)

ペダルを踏んでいる間、鍵盤から指を離しても音を長く響かせることができます。ダンパーレゾナンス対応です。ペダルを踏み込むほど音が長く伸びます(ハーフペダル対応)。

ソステヌートペダル(まん中のペダル)

このペダルを踏んだときに押さえていた鍵盤の音だけが、鍵盤から指を離しても長く響きます。ペダルを踏んだ状態で弾いた音に対しては機能しないので、「和音を長く鳴らしながらメロディーをスタッカートで弾く」といったことができます。



ソフトペダル(左のペダル)

このペダルを踏んだあとに弾いた鍵盤の音量をわずかに下げ、音の響きを柔らかくします。ペダルを踏んでいる間は効果が持続します。ペダルを踏んだときに押さえていた鍵盤の音には効果はかかりませんので、効果をかけたい音を弾く直前にペダルを踏みます。

デュオのときのペダル効果

デュオ機能をオンにすると(10ページ)、ペダルの機能は次のように変わります。

- ・ダンパーペダル(右のペダル): 右側鍵域のダンパー効果
- ・ソステヌートペダル(まん中のペダル): 左右両鍵域のダンパー効果
- ・ソフトペダル(左のペダル): 左側鍵域のダンパー効果

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げの販売店、または修理ご相談センターにご連絡ください。

● 保証書

本製品には保証書がついています。

「販売店印・お買い上げ日」が記入されている場合は、記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。記入されていない場合は、購入を証明する書類（領収書、納品書など）とあわせて、大切に保管してください。

● 保証期間

保証書をご覧ください。

● 保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

有寿命部品については、使用時間や使用環境などにより劣化しやすいため、消耗劣化に応じて部品の交換が必要となります。有寿命部品の交換は、お買い上げの販売店、または修理ご相談センターへご相談ください。

有寿命部品の例

ポリウムコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点、ドラムパットなど

● 補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造終了後8年です。

● 修理のご依頼

まず本書の「困ったときは」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。

それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、または修理ご相談センターへご連絡ください。

● 製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとおわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

◆ 修理に関するお問い合わせ

修理ご相談センター



フリーダイヤル

携帯電話、
IP電話からは

0120-149-808

050-3852-4106

受付 月曜日～金曜日 10:00～17:00
(祝日、センター指定休日を除く)

FAX 東日本(北海道/東北/関東/甲信越/東海) 03-5762-2125
西日本(北陸/近畿/中国/四国/九州/沖縄) 06-6649-9340

◆ 修理品お持込み窓口

受付

月曜日～金曜日 10:00～17:00 (祝日、センター指定休日を除く)

* お電話は、修理ご相談センターでお受けします。

東日本サービスセンター

〒143-0006

東京都大田区平和島2丁目1-1 JMT京浜E棟A-5F

FAX 03-5762-2125

西日本サービスセンター

〒556-0011

大阪市浪速区難波中1丁目13-17 ナンバ辻本ビル7F

FAX 06-6649-9340

◆ 電子ピアノの仕様や取り扱いに関するお問い合わせ

お買い上げの販売店、または下記のお客さまコミュニケーションセンターにご連絡ください。

お客さまコミュニケーションセンター 電子ピアノ・キーボードご相談窓口



フリーダイヤル

携帯電話、
IP電話からは

0120-139-808

050-3852-4079

受付 月曜日～金曜日 10:00～17:00
(祝日、センター指定休日を除く)

ヤマハ サポート・お問い合わせ

<https://jp.yamaha.com/support/>



ヤマハ楽器音響製品お客さまサポート
LINE公式アカウント



ヤマハ ピアノ・電子ピアノサイト
<https://jp.yamaha.com/piano/>

ヤマハ株式会社

〒430-8650 静岡県浜松市中央区中沢町10-1

※ 都合により、住所、電話番号、名称、営業時間などが変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

© 2023 Yamaha Corporation
2025年4月発行 IITY-CO



VFH7960